

受賞者の概要

施設部門

<最優秀賞>

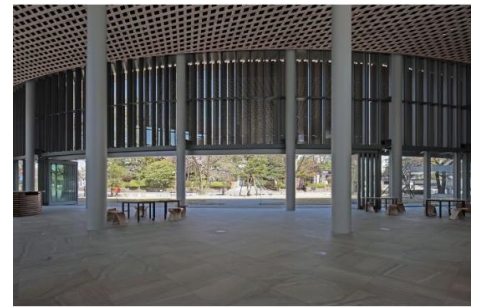
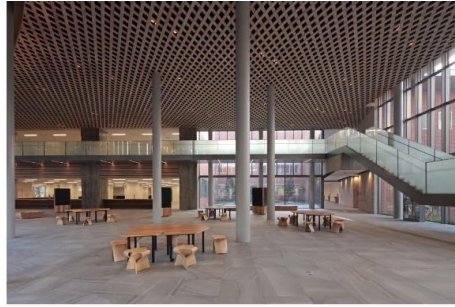
○金沢市第二本庁舎（庁舎）

〔 設置者：金沢市

設計者：株式会社五井建築研究所

〕

トイレは、市職員で構成された組織である「これからのトイレSOZOチーム」と障害者関係団体の意見を反映させ、様々な利用者への配慮がなされた設計となっている。施設の周りには緩やかな勾配の遊歩道を設け、地域住民の利便性も考慮されている。



<優秀賞>

○特別養護老人ホームことぶき園（特別養護老人ホーム）

〔 設置者：社会福祉法人芙蓉会

設計者：株式会社浦建築研究所

〕

居室は、個人のスペースを広く確保しつつ、入所者同士のコミュニケーションの機会も確保することができる2人部屋となっているが、必要に応じて、可動式間切りで1人部屋にすることもできる。また、トイレのスペースを広く確保したり、汚物処理器具を底上げすることで、かがんで作業せずに済むようにしたりするなど、職員にとって働きやすい設計となっている。



活動部門

<最優秀賞>

○林 正勝

活動開始：平成21年6月

活動地域：加賀市

- ・スポーツ指導員の資格を取り、フライングディスクやペタンクなどの講習会を開催し、障害者や高齢者に社会活動に参加するきっかけを提供している。
- ・障害者だけでなく、児童らに対しても講習を行い、パラスポーツの普及と、地域の心のバリアフリーの推進に貢献している。



<優秀賞>

○一般社団法人 Be.カラフル

活動開始：平成28年11月

活動地域：金沢市

- ・石川県精神保健福祉家族会連合会や企業、小学校などで、障害者理解の講演を無償で行い、地域住民の障害者に対する理解を深める普及啓発活動を行っている。
- ・医療従事者養成学校の生徒の就学体験実習を受け入れ、学生自身が学校で学んだことをアウトプットする場を提供し、地域福祉に携わる人材育成にも貢献



<奨励賞>

○放課後デイサービスあんじゅ 三浦 恵子

活動開始：平成28年1月

活動地域：金沢市

- ・小学校や中学校で障害について取り上げた絵本の読み聞かせを行い、外見には分からない障害への理解を広めている。
- ・「体感型読み聞かせ」と称し、子どもたちと「目が見えないってどうだろう。」「耳が聞こえないってどんな感じだろう。」と実際に目や耳を塞いで考え、誰もが困っている人に手を差し伸べられる社会を目指し、活動を続けている。



福祉用具部門（一般部門）

<最優秀賞>

○呼吸器回路コネクタ外れ事故防止アイテム（萩 豊人）

- ・気管カニューレと呼吸器回路をつなぐコネクタが外れる事故を防止する。
- ・ゴム紐の両端に付けられたフックを、カニューレホルダーの取付け穴にかけ、ゴムを患者側コネクタの上部に引っ掛けて使用する。



<優秀賞>

○介護ベッド用ずり落ちナイス！（高松 外美子）

- ・介護ベッドの上体を起こすと、枕や枕元に置いていたティッシュやリモコンなどが滑り落ちてしまう不便を解消する。
- ・マットレスの下に挟み込んで使用する。柔らかい素材で作られており、身体に当たっても痛くないよう配慮されている。



<奨励賞>

○バランスくん（原 祐宏）

- ・下肢の運動失調がある方の歩行をサポートする。
- ・靴底に入れて使用する。重りになっており、バランスがとりやすくなる。また、歩行速度も上がることが証明されている。
- ・中敷きの下に入れて使用するため、目立たない。



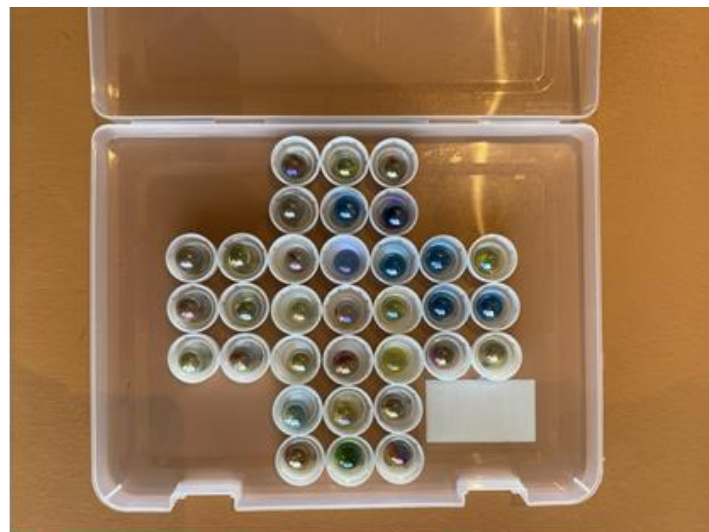
○タオルキャップ (村上 陽子)

- ・片手が不自由な人を想定し、片手で髪をタオルで包むことができるようにしたもの。
- ・筒状のタオルの下部にボタン、上部にゴムがついており、タオルを被って、上部のゴムをボタンに引っ掛けることで、長い髪でも簡単にまとめることができる。



○ビー玉テトリス (荒木 左知子)

- ・高齢者の認知症予防、手指の巧緻性の訓練に用いることを想定したもの。
- ・ビー玉をひとつ取り出し、取り出した場所から縦か横に1マス飛ばした場所に入れる。飛ばされたマスに入っているビー玉は盤から取り除く。これを繰り返す、ビー玉が1つだけ残ればゲームクリア。

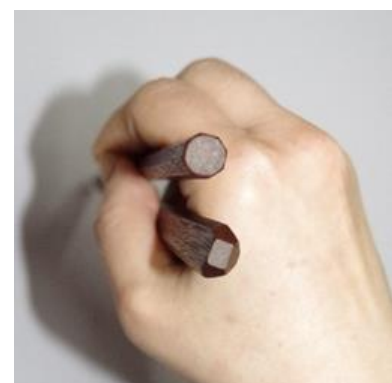
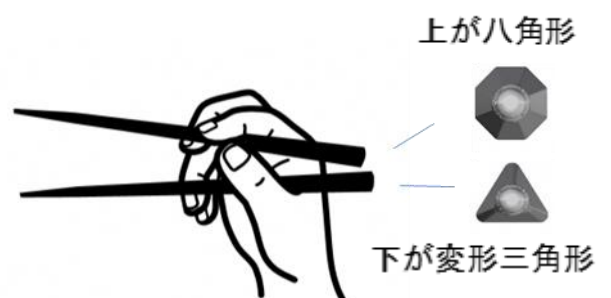


福祉用具部門 (企業部門)

<最優秀賞>

○箸アシメ (小山箸店 (手ばしや))

- ・これまでの箸は、同形状2本で1組が常識であったが、新たに各々の断面形状が異なる左右非対称 (アシンメトリ) の箸を考案。
- ・制作段階で、子供を対象に箸の動作分析を実施。箸操作の上達に伴い、手元に近い下の箸を動かさずに、上の箸を回転して開閉していることを発見した。
- ・上の箸には、回転しやすく卓上で転がりにくい八角形、下の箸には、親指で押さえやすく固定しやすい変形三角形を採用している。
- ・正しい持ち方が促されるため、より多くの人にとって使いやすく、子どもや障がいを持つ方等も、箸での食事を楽しむことができる。



<優秀賞>

○ARAS お茶碗・汁椀（石川樹脂工業株式会社）

- ・指の曲がりにくい方や力の弱い方でも、器の底が揺らぎ形状で平らになっていることで、器を水平に安定して持ち上げることができる。
- ・底の淵が揺らぎ形状になっていることで、洗った後も水が溜まらず、流れ落ちる。
- ・老若男女が使えるデザインであること、食洗器の使用が可能であることなど、ユニバーサルデザインにも配慮されている。



○車いすスマホ用アーム（川端鉄工所株式会社）

- ・もともと当該企業で取り扱っていたタブレット用固定アームを改良したもの。
- ・アームに、より細いパイプを使うなどして、軽量化を図っている。
- ・角度調整の部分を工夫し、既存のものよりも簡単に長さや角度が調整できるようになっている。
- ・スマホホルダーは市販のもので対応できる。



<奨励賞>

○3D 造形自助具シリーズ「内服だけどラムネがポン」

（訪看リハビリステーションいまひら 自助具工房えむ 光田 雅人）

- ・3D プリンターを利用して造形された、医療機関から処方された錠剤を開封するための自助具。
- ・包装されたままの錠剤をトレイにセットし、蓋の突起で押し込むと、下の容器に包装から出た錠剤が落ちるようになっている。
- ・錠剤を PTP 包装から取り出す際に、誤って薬を飛ばしてしまうことを防ぎ、片手でも使用することができる。

